

全員ミーティング 2024 報告書

担当:大野 文

日程 2025年2月13日(木) 16:30~18:30

会場 太洋中学校体育館2階会議室

参加者 17名

大野悟、雨宮、中村、清田、栗木、中里、廣庭、竹原、草島、武次
平澤、鈴木真、福本、下田、三谷、横田、大野

次第

16:00 会場準備

16:30 開会挨拶……大野

研修「平塚市の児童虐待の現状について」

講師 平塚市こども家庭課課長代理 佐藤幸二 氏

17:00 支援員への相談と連絡事項

- 相談事項 生徒の参加申込書の書式について……清田
- 相談事項 学習支援の進め方について……大野
- 連絡事項 eboard 学習の説明……中里
- 連絡事項 卒業生へのお祝いメッセージについて……三谷

17:30 グループトーク 自由テーマ

18:15 グループの発表

18:30 閉会挨拶……清田

グループ別発表

A. 小学生担当支援員:中村、竹原、武次、平澤、鈴木真、三谷 6名

- 英語のトレイシー先生は3月で辞められる。英語ができる支援員もいると思うが、話せるから教えられるかと云えば違うので難しい。
- 来年度のセクションリーダーは武次さんと竹原に決定。
- 小学生ミーティングの開催は年に4回くらいなのでセクションリーダーの負担は少ない。
- 寺子屋のイベントの時はセクションリーダーだけでなく、他の小学生支援員さんにも頼むようにする。
- 来年度はクラスをAグループ、Bグループに分けるため、担当する支援員の希望もあると思うのでどうするか。

B. 中学生理数担当支援員：大野悟、清田、中里、草島、横田 5名

意見

- 中3数学の後半で学ぶ範囲が入試に良く出るが、授業の進捗が遅い。
- 同時に複数の生徒を相手にする場合は、レベルの差が大きいとやりづらい。
- 入試対応として、前半の計算問題で点を取るよう指導した。
- 生徒自身の理解を進めるためには、文字を丁寧に、きれいに書くことが大切だ。
- 数学は積み上げなので、1年、2年の内容の理解が大切だ。
- 生徒に達成感を味合わせ、自信を持たせてやるとヤル気スイッチが入る。

提案

- 学習支援員が不足した場合の対応として、次を検討しても良いと考える
 - ① eboard の活用
 - ② 生徒同士で教え合う

来年度セクションリーダー 中里さん、雨宮さん継続 但し、雨宮さんは運営委員会を欠席。

C. 中学生国英担当支援員：雨宮、栗木、廣庭、福本、下田 5名

- 英語が得意ではない生徒が多い。どのように対応すべきか？
→得意ではない理由も様々。生徒ごとにその理由を突き止めて対策することが重要。
- 小学校の英語の授業のレベルが上がっている。中学に入る前から英語が嫌いになっている可能性大。また、中学に入った段階で英語のレベルに差が付いていることもありえる。
→英語を好きになってくれるようにするにはどうするか？
- 教科書は良くできている。ポイントも纏まっており、上手に使うべき。(QRコードでリスニングの活用も可能)
- レベルの違う複数の生徒を担当する場合、対応が難しい。

研修ふり返りは別途報告します。

以上